



取付説明書

VICS アンテナ用フィルムエレメント

品 番 : **CA-PFL2VD**

適合機種: (2011年4月現在)

CN-GP710VD/SP710VL

CN-GP510VD/SP510VL

※詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本説明書および接続する機器の説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- お読みになったあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

本書は、フィルムアンテナの貼り付け方法のみ記載しております。
VICSアンテナ用フィルムエレメントへの接続方法などにつきましては別売のCA-PVAN3Dに付属の取付説明書をご覧ください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年	月	日
品 番	CA-PFL2VD		
販 売 店 名	☎ () -		

パナソニック株式会社 オートモーティブシステムズ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地
お客様ご相談センター

- ・フリーダイヤル ☎ 0120-50-8729
受付 9:00~18:30/365日
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記電話番号がご利用いただけない場合 **0857-30-4578**
※ご利用の際の通話料金はお客様のご負担となります。

- ・ F A X* 045-938-1573
受付 9:00~18:30 (土・日・祝日・当社休日を除く)
※通信料は、お客様のご負担となります。

仕 様

品 名 : VICS アンテナ用フィルムエレメント

貼り付け場所 : フロントウィンドウ(車内側)

- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 本書に記載の寸法は、おおよその数値です。

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

品 名	数 量
 フィルムアンテナ	1
 取付説明書（本書）	1

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



説明書に従って、正しく取り付けをする

火災や故障の原因になります。作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)へご依頼ください。

VICS アンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける

視界不良による事故の原因になります。



視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない

交通事故やけがの原因になります。

※ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など



注意



取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

取り付け/取り外しには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因になります。

天気の良い日中に取り付けてください

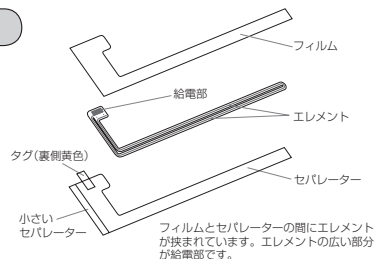
雨、霧など湿気が多いときは、両面テープの接着力が低下し、外れて事故やけがの原因になることがあります。

貼り付ける前に

- 貼り付け・配線をするためには、フロントウィンドウ周りの内装を一時的に取り外す必要がありますので、ご了承ください。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。
 - 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
 - ピラーにフロントエアバッグを搭載している車には、取り付けできません。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- 車検適合させるために、右記「■貼付許容範囲について(VICSアンテナ)」および本書の取付方法をよくお読みのうえ、正しく貼り付けてください。貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断され不合格になります。
- 本商品はフロントウィンドウ専用です。それ以外の場所(リアウィンドウなど)に貼り付けると、受信感度が低下します。
- アンテナの表面保護用ビニールをはがしたあと、アンテナ貼り付け面には手をふれないでください。指紋やゴミが付着し粘着力が弱くなります。

必ずケーブルおよびフィルムアンテナを仮止めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。
一度貼り付けると、貼り直しできません。

フィルムアンテナの構成



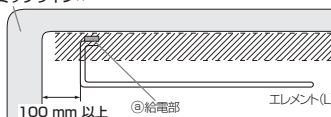
貼り付け位置について

- フィルムアンテナは、点検整備済ステッカー・検査標章などと重ならないように貼り付けてください。
- フィルムアンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けないでください。
- フロントウィンドウに、すでに他のフィルムタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
(指定の位置・寸法内に貼り付けられない場合があります。)
- 車検適合させるため、また、性能を十分に発揮させるために、必ず下記の位置に貼り付けてください。
- 左ハンドル車に貼り付ける場合も、下図のとおり貼り付けてください。
- 他のアンテナを取り付けている場合、妨害を防ぐため、他のアンテナからフィルムアンテナを100 mm～150 mm程度(下図〈車内から見た図〉参照)離して貼り付けてください。

■貼付許容範囲について(VICS アンテナ)

エレメントの給電部(図中の㊸)は、必ず貼付許容範囲内(斜線部)に貼り付けてください。
貼付許容範囲内外に貼り付けると、車検に不適合となります。
※道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)、細目告示第195条 および 別添37

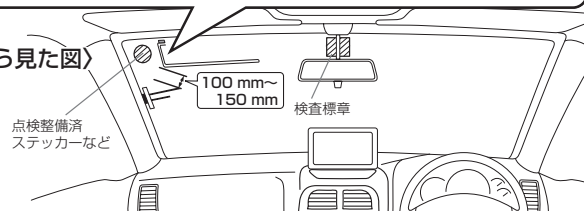
セラミックライン☆



セラミックライン☆
下端から25 mm
(貼付許容範囲)

セラミックラインにも貼り付けできます。
☆印…フロントウィンドウ端の黒い部分、
および黒いドット(点々のこと)部分

〈車内から見た図〉

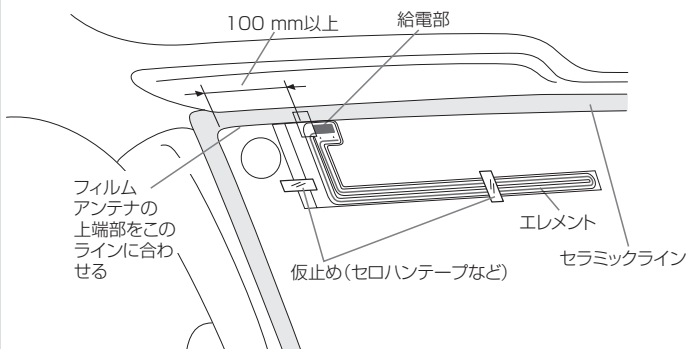


VICS アンテナ(フィルムタイプ)の貼り付けについて

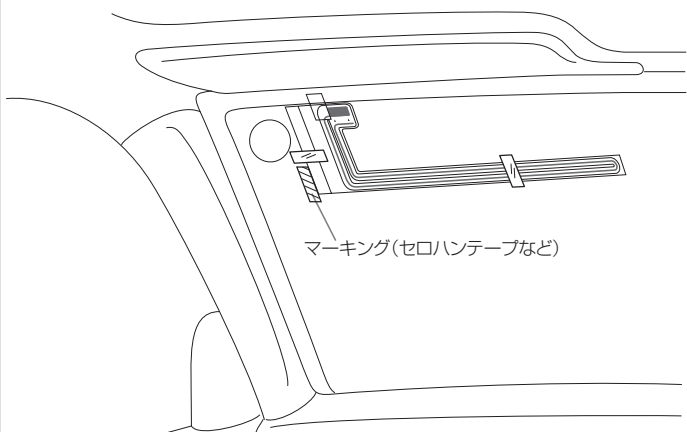
1

貼り付け位置について (表面参照)をよく読んで
貼り付け位置を決める

(1) エLEMENTの給電部を上にし、セラミックラインの下端に合わせ、セロハンテープで仮止めする。



(2) ELEMENTの左右位置を、セロハンテープなどでマーキングしてください。



2

ELEMENTを貼り付ける

※マーキングは残して、仮止めしたフィルムアンテナを取り外してから行ってください。

ELEMENT貼り付けについてご注意

- ELEMENTのはくり紙は、ELEMENTののりの強さとフィルムののりの強さでバランスをとっていますが、ELEMENTが細いため、まれに移行がうまくいかないことがあります。その場合はあせらず、一度元の状態に戻し、強く押し付けてからやり直してください。
- ELEMENT貼り付け直後(3時間以上)は貼り付けたELEMENTにガラスクリーナーなどを吹きつけたり、ELEMENTの上から直接ガラスを拭いたりしないでください。また、ELEMENT上を直接拭くときは時間にかかわらず、柔らかい布などを使用し、ELEMENTに傷が付かないよう注意してください。

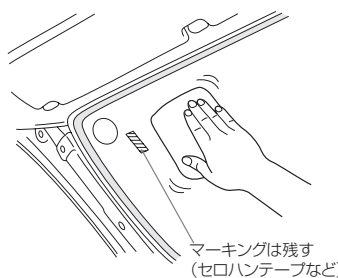
(1) フロントウィンドウの汚れ(ゴミ・油など)やくもり止めに拭き取る。

- 毛羽立たない柔らかい布かスポンジに少量の水をふくませ、きれいに拭き取りフロントウィンドウは乾いた状態にしてください。

※フロントウィンドウが乾かないうちは貼り付けないでください。ELEMENTがフロントウィンドウに貼り付かなくなります。

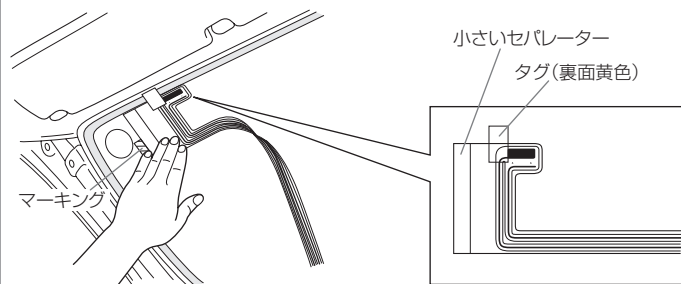
- 冬場などは車内ヒーターを入れ、霜取りおよびガラス面を暖めてから作業を開始してください。

※作業中は、車のキースイッチをOFFにしてください。



(2) フィルムの端をガラスに付けて固定する。

- 小さいセパレーターをはがして、マーキング(セロハンテープ)に合わせて貼り付けてください。



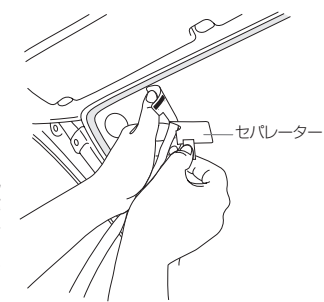
(3) タグ(黄色)を持ってゆっくりとセパレーターをはがす。

- フィルムにELEMENTが移っていることを確認しながらゆっくりと軽くはがしてください。

※ELEMENTがセパレーター側に残った場合は、フィルムを元に戻してELEMENT上を押しつけて、再度セパレーターをはがしてください。(最初はフィルムに移っていても途中からセパレーターに残る場合もあります。その場合も同様に押し付けてから、はがしてください。)

- セパレーターを急にはがしたり、極端にゆっくりはがしたり、フィルムを強く曲げたりするとELEMENTが断線するおそれがあります。

※セパレーターをはがしたあとは、のり面(ELEMENT色黒色の方側)に指紋やホコリなどがつかないように注意してください。ELEMENTが貼り付かなくなります。

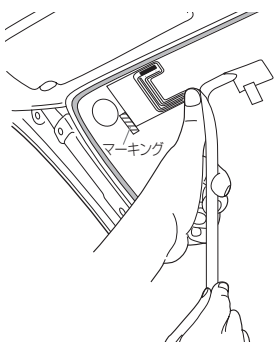


3

(4) フィルムを軽く引っ張りながら貼り付ける。

- フィルムがたるむと空気が入るため、指で強く押し付けながらマーキング（セロハンテープ）に合わせてガラスに貼り付けて下さい（途中で止まると白くにびきます）。
- 空気が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。

一度エレメントがガラスに貼り付くと貼り直しはできませんのでご注意ください。



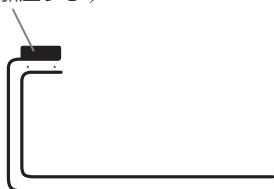
- セパレーターは指で押し付ける過程で押し出されるので、軽くはがしたあとは触れずに貼り付けることができます。
- 位置が決まったら、マーキングをはがしてください。

(5) 全面貼り付け後、エレメント上を強く押さえしっかりと密着させる。

- 給電部は気泡が残しやすいので念入りに加圧してください。
- ※ 加圧が不足するとフィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線するおそれがあります。
- 加圧はエレメントを中心にしてください。
- 指での加圧が困難な場合は樹脂ヘラなどを使用してください。

- フィルムをフロントウィンドウに貼り付けた状態で車外から貼り付け部に気泡（白っぽく見えます）が残っていないか確認し、残っている場合は再度その部分を加圧して気泡がなくなったことを確認してください。

給電部
（給電部はとくに
念入りに加圧する）

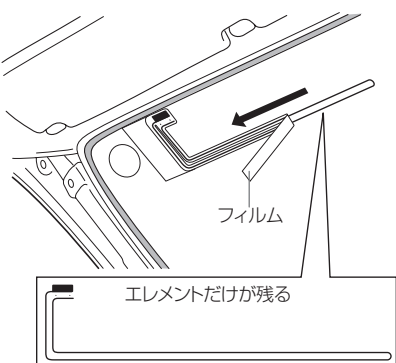


(6) フィルムを右端からゆっくりと左方向にはがす。

- エレメントがフロントウィンドウに転写されているのを確認しながらゆっくりとはがしてください。

※ 勢いよくはがすとエレメントが断線しますのでやめてください。

- ゆっくりとはがしてもフィルムとともにエレメントがはがれる（フロントウィンドウに転写されない）場合は、再度フィルムをフロントウィンドウに貼り付け、エレメントを強く押し付けてください。



※ フィルムをはがしたあとはエレメントの給電部に触れないでください。皮脂により給電部がさびて性能が低下するおそれがあります。

- 貼り付け直後はガラスクリーナーなどを吹き付けないでください。
- 貼り付け完了後には柔らかい布などで上から押さえつけるように加圧してください。このとき、エレメント部を拭くような行為はやめて、押さえつけるだけにしてください。